

EMぼかし容器の使い方



EMぼかし容器は、EMぼかしを資材にして生ごみを発酵させ、堆肥を作るための容器です。EMぼかし容器を使って生ごみを堆肥にしましょう。

①準備

ぼかしを容器の底に新聞紙を敷き、上にEMぼかしを一握り程ふりかけます。



- 容器は、台所や直射日光の当たらないベランダ等に設置してください。
- 新聞紙を入れることで、容器の汚れを防ぎます
- EMぼかしとは、米ぬかやもみ殻等をEM菌(有用微生物群)と混ぜて発酵させたものです



②生ごみとEMぼかしを入れる

水分を切って細かくした新鮮な状態の生ごみを入れ、その上にEMぼかしを一握り程ふりかけます。



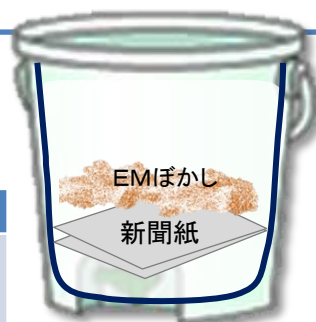
- 堆肥を作るコツ
 - ・水分をしっかり切ること
 - ・野菜を細かく切ること
 - ・新鮮なうちに入れること

入れて良いもの

- ・野菜くず・残飯
- ・卵の殻・茶がら
- ・コーヒーかす

入れてはいけないもの

- ・腐った生ごみ・タバコ
- ・肉類・魚類・油もの
- ・タマネギの皮



③混ぜて、密閉する

しゃもじ等を使って軽く混ぜて、上から押さえ中の空気を出します。空気を出したら、ふたをきっちりと閉めてください。



- 空気に触れないようにすることで、発酵を促進できます



④発酵液を取り出す

発酵が進むと、容器の底に発酵液が溜まるので定期的に取り出しましょう。発酵液を500～1,000倍に薄めると、肥料(液肥)として活用できます。また、原液のまま排水溝にかけると、汚れ取りや悪臭対策にもなります。



- 発酵液は、薄茶色をしており、甘酸っぱいような臭いがします
- 投入したものによっては、発酵液がほとんど出ないこともあります、1日に1回程度取り出してください
- 白カビが生えることもありますが、これは良い状態です



②～④を容器がいっぱいになるまで繰り返す

⑤堆肥として使う

中身がいっぱいになった容器を、しっかりとフタしたまま数週間～1か月程寝かせたら、堆肥の完成です。※長く置きすぎると腐敗する可能性があります。完成した堆肥は土とよく混ぜ、2～3週間ほど熟成させてから使用してください。



ぼかし容器の実際の使用例



ぼかし容器を使用して15年以上の森下にお住まいのBさんに、堆肥化容器の使用についてお話を伺いました。
ぼかし容器は9個使用しており、屋外(台所の裏手)に設置されています。

①入れているごみの種類や量はどのくらいですか？

残飯や野菜くずを1日三角コーナー1杯半位とぼかしを交互に入れていきます。



②ぼかしはどのように入れていますか？

生ごみを投入後、毎回洗剤のカップ1杯ほどのぼかしを振りかけています。



③液肥はどのくらい取り出していますか？

液肥はほとんど取り出していないです。容器が一杯になり十分発酵したら、液肥も堆肥もまとめて畑の一角に取り出します。その後、雑草やワラ・米ぬか等と混ぜ合わせ、熟成させてから堆肥として使います。



④生ごみが堆肥化するまでどのくらい期間がかかりますか？

容器が一杯になるまで3か月くらい。それから雑草やワラなどを入れて、さらに3か月ほど完熟させます。

⑤容器の使用により、家のごみの量に変化はありましたか？

2人暮らしで燃えるごみは2週間に1回ほどしか出しません。生ごみを入れないので袋は軽く、においもほとんどしません。



☆ぼかし容器の使用についてアドバイス！

うちではほとんど液肥を抜くことはありませんが、排水溝の汚れ取り等で使う用途がある場合は、液肥をこまめに抜いたほうが良いと思います。